

承認No. 575 株式会社九面屋

経営革新計画のテーマ

観光土産品向け和菓子製造技術を活かした高付加価値商品の開発・販路拡大

経営革新承認日：平成26年1月31日 承認期間：平成25年7月～平成28年6月

“伝統ある自社和菓子商品”

赤松せんべい，かるかんを主力商品に，昭和5年の創業から和菓子を製造販売している。霧島神宮より”九面屋”と名乗ることを許された由緒正しい屋号を持っていることで，古くから地元をはじめとした知名度は高い。

販売網としては，鹿児島県内外に取引先があり，盤石な営業基盤を有している。また，業歴の長いベテラン社員と若手社員との協働体制がうまく噛み合っており，社内の風通しもよい環境にある。

しかしながら，昨今では消費者ニーズの多様化から既存商品のラインナップ及び流通ルートを通じての販路拡大・売上増加には限界が見えてきており，鹿児島の観光客や県外の菓子問屋経由の一般消費者をターゲットにしてきたこれまでの販売戦略について，抜本的な見直しを迫られていた。

“現在の消費者ニーズに合った商品の提供に向けて”

現代の市場環境や消費者ニーズに合った高付加価値のある商品を開発するため，主力商品の個別包装化，贈答用などグレードの高い商品の抜本的な見直し，既存商品のリニューアルを行う。

具体的には，核家族・単独世帯の増加による世帯人数の減少傾向を見据えて，個別包装の機械を導入する。これまでとは包装形態に変更が生じるが，原料やパッケージデザインにこだわった商品作りはこれからも続けていきたい。

贈答用などグレードの高い商品メニューを開発し，百貨店を中心とした新たな販路開拓を図る経営革新に取り組むことにより，これまでの観光土産品向けの和菓子製造の範疇から脱却すると同時に売上の拡大を目指していく。



赤松せんべい



薩摩大使

会社概要	代表者：鳥丸 秀樹	業種：菓子製造業
	創業年：昭和5年(1930年)	従業員数：44人(平成25年6月期)
	資本金：1,000千円	売上高：372,000千円(平成25年6月期)
	所在地：霧島市隼人町真孝2270-34	
	電話番号：0995-55-5596	E-mail：webmail@po2.synapse.ne.jp

利用した支援策

- ・政府系金融機関による低利融資（中小企業事業 鹿児島支店）

“商品開発・営業活動・生産管理の工夫”

商品開発については、既存商品のリニューアルだけでなく、地元産のさつまいもを2種類使った色味のよいクッキーを開発したが、外装についても動物のキャラクターを取り入れたパッケージとすることで、若者に手にとってもらえるような、自社にこれまでになかった新商品を販売していきたい。販路拡大については、製造部門での勤務経験があり、意欲のある者を営業部門にまわすことで、営業力の強化を図っていきたい。

また、県の支援制度の活用、研修会の参加も積極的に行っている。最近では、生産ラインの改善については、食品関連企業利益力アップ支援事業を活用している。生産管理の経験を有する「カイゼンコーディネーター」が当社の製造現場を訪問し、生産管理の改善に関する助言を受けている状況である。これまでになかった改善方法を知ることができおり、今後の生産方法について参考になっている。

“高級志向の顧客に認知してもらいたい”

東京の高級デパートに卸すことができるようなクオリティの高い商品作り、販路開拓を進めていきたい。そして、鹿児島にも美味しくて質の高い商品があることを、東京の高級志向の顧客に認知していただき、購入に繋げていきたいと考えている。



塩かるかん



お！いもクッキー（新商品）